

2025年10・11月購入・受入れ

新着図書のご案内

姫路市立城郭研究室

畿内近国の城郭と縄張技術

金松誠

戎光祥出版

図説 群馬の城郭

余湖浩一・飯森康広

国書刊行会

岐阜城と織田信長

岐阜市歴史博物館

上杉謙信の祈りと信仰

米沢市立上杉博物館



特別展 慶長の城

松江歴史館

日本陸軍の基礎知識 明治/大正の兵器編

藤田昌雄

潮書房光人新社

史料纂集 鍋島直郷参府記

井上敏幸 進藤康子/校訂

八木書店

江戸大仏

三船温尚 杉本和江/編

八木書店

先人達の屋根技術

全国社寺等屋根工事技術保存会

一遍聖絵 1

前田育徳会尊経閣文庫/編

八木書店

船上城から明石城へ

発掘された明石の歴史展実行委員会

特別展 大中遺跡の新発見

播磨町郷土資料館

阪神・淡路大震災を伝える・知らせる

兵庫県立歴史博物館



今月のおすすめ本紹介！！



図説近世城郭の普請 縄張・城下町編

三浦正幸 原書房

「縄張」とは城全体の設計を指します。本書では、曲輪、堀など「縄張」を構成する要素を分析するとともに、実戦を見据えた戦略的な「縄張」の意義、戦術を超えた戦略的な構想の「縄張」について触れ、近世城郭の本質、その存在意義について述べています。私たちが天守に向かって何気なく歩いている登城道には、様々な戦略的な構想が隠れているのです。日本建築史・城郭史を専門とする著者の「図説近世城郭シリーズ」最新作。是非ご一読ください。

社寺建築を知るための用語集

濱島正士 勉誠社

前回、この場で紹介した文化財建造物保存協議会が出版する『文建協通信』において、「調査研究ノート 日本建築の用語を考える」と題し、11回にわたり連載された寄稿文を1冊にまとめたもの。

伝統的な木造建築の歴史研究と文化財保存修理の第一線をリードしてきた著者が、日本の歴史的建築、特に社寺建築の専門用語を豊富な図版や歴史的資料とともに詳しく解説した入門書です。日本建築史を学ぶ際に最初の壁となるのは、難解な専門用語の理解ですが、本書では用語解説とともに建築史の背景も丁寧に解説しているため、初心者でも理解を深めながら学習を進めることができることでしょう。

- ※ 上記の図書は、日本城郭研究センター2階 城郭資料特別閲覧室にて閲覧していただけます。
- ※ 貸し出しはしていません。
- ※ 開室時間は、月曜日から金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
- ※ 土、日曜日・休日・年末年始は閉室しています。
- ※ 上記の図書以外にも姫路城や姫路の歴史に関する蔵書など貴重な書物をたくさん収蔵していますので、興味のある方は、是非お越しください。
- ※ 城郭研究室への問い合わせ先及びホームページは、下記のとおり。

姫路市立城郭研究室（日本城郭研究センター2階）

TEL 079 (289) 4877

URL <https://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken/>

